



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 開発企画本部 副本部長 (氏名)河村 真 (TEL)03(6838)2803
 広報・IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	299,279	△4.8	2,431	△35.2	3,856	△27.1	2,305	△34.2
29年3月期第1四半期	314,333	6.5	3,753	39.6	5,293	22.8	3,503	157.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,028百万円(△27.8%) 29年3月期第1四半期 4,196百万円(147.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	33.56	30.47
29年3月期第1四半期	51.06	46.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	612,917	189,666	30.9
29年3月期	598,871	188,271	31.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 189,497百万円 29年3月期 188,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	573,000	△6.9	5,000	△34.6	7,200	△31.9	4,000	△41.9	58.18
通期	1,186,000	△3.7	14,300	0.4	18,700	△5.8	10,300	△27.6	149.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	78,270,142株	29年3月期	78,270,142株
30年3月期1Q	9,805,137株	29年3月期	9,518,069株
30年3月期1Q	68,717,366株	29年3月期1Q	68,612,155株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における医療用医薬品市場は、前年同期に比べて3.2%のマイナス成長となりました。これに対して当社はC型肝炎治療薬の売上減少に伴い市場平均を上回る前年同期比マイナスとなりましたが、計画比では基準を上回る進捗となりました。

当社グループでは医療・健康・介護に携わる企業集団として、患者様や医療機関さらには在宅医療・看護に携わる専門職等が抱える課題の解決に向けて、顧客支援システムの開発や提案を継続的に実施いたしました。また、健康サポート薬局としての機能強化や地域包括ケアシステムの構築など、新しいテーマについてもサービスやシステムの開発に取り組み、付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進いたしました。また、ジェネリック医薬品の数量80%時代を見据え昨年11月に発足させた共創未来ファーマ(株)については、6月の薬価追補収載において2成分11品目を新たに発売し、「共創未来ファーマ」ブランドの製品は4成分14品目となりました。

当第1四半期の連結業績は、売上高299,279百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益2,431百万円（前年同期比35.2%減）、経常利益3,856百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,305百万円（前年同期比34.2%減）となりました。第2四半期累計業績予想に対する進捗率は、売上高で52.2%、営業利益で48.6%、経常利益で53.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益で57.6%となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、4月に合同東邦(株)を東邦薬品(株)に吸収合併し新たに関西支社を発足させ迅速な連携体制を強化するとともに、薬局共創未来の会員数拡大に取り組むなど顧客基盤の拡充を図りました。また、顧客支援システムの早期普及を目指し、特に「病院なび」「初診受付サービス」「ENIFvoice SP」などの契約拡大に努めました。その結果、当第1四半期の医薬品卸売事業の売上高は286,808百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2,221百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応と店舗業務の標準化や本部への業務集約による効率化を推進することで収益性の改善に取り組みました。その結果、売上高は24,147百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は662百万円（前年同期は営業損失118百万円）となりました。

治験施設支援事業では、売上高は75百万円（前年同期比18.9%減）、セグメント利益（営業利益）は20百万円（前年同期比39.9%減）、情報機器販売事業においては、売上高は281百万円（前年同期比32.6%増）、セグメント損失（営業損失）は58百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、438,509百万円となりました。これは、現金及び預金が7,401百万円、商品及び製品が4,713百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、174,407百万円となりました。これは、投資有価証券が3,860百万円増加し、有形固定資産が475百万円、のれんが507百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、612,917百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、381,939百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が12,315百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、41,310百万円となりました。これは、長期借入金395百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、423,250百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、189,666百万円となりました。これは、利益剰余金が1,274百万円、その他有価証券評価差額金が722百万円それぞれ増加した一方、自己株式が625百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日発表の平成30年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,966	39,368
受取手形及び売掛金	284,205	283,567
商品及び製品	73,575	78,289
その他	37,616	37,591
貸倒引当金	△312	△307
流動資産合計	427,052	438,509
固定資産		
有形固定資産	86,371	85,896
無形固定資産		
のれん	4,300	3,792
その他	2,998	2,854
無形固定資産合計	7,298	6,647
投資その他の資産		
投資有価証券	68,781	72,642
その他	11,972	11,821
貸倒引当金	△2,605	△2,600
投資その他の資産合計	78,148	81,863
固定資産合計	171,818	174,407
資産合計	598,871	612,917

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,039	361,355
短期借入金	4,216	4,012
未払法人税等	3,020	1,725
賞与引当金	3,506	5,178
役員賞与引当金	75	27
返品調整引当金	324	315
資産除去債務	-	1
その他	8,575	9,322
流動負債合計	368,758	381,939
固定負債		
社債	15,041	15,037
長期借入金	1,962	1,567
退職給付に係る負債	1,786	1,802
資産除去債務	1,078	1,076
負ののれん	49	42
その他	21,923	21,784
固定負債合計	41,841	41,310
負債合計	410,599	423,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,856	47,856
利益剰余金	128,123	129,397
自己株式	△16,051	△16,677
株主資本合計	170,577	171,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,836	22,558
土地再評価差額金	△4,287	△4,287
その他の包括利益累計額合計	17,548	18,271
新株予約権	145	168
純資産合計	188,271	189,666
負債純資産合計	598,871	612,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	314,333	299,279
売上原価	286,568	273,069
売上総利益	27,765	26,210
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	10,398	10,343
賞与引当金繰入額	1,843	1,727
役員賞与引当金繰入額	19	17
退職給付費用	57	53
福利厚生費	1,953	1,961
車両費	263	261
貸倒引当金繰入額	△8	△11
減価償却費	1,102	1,085
のれん償却額	551	507
賃借料	1,724	1,760
租税公課	465	459
仮払消費税の未控除費用	1,364	1,333
その他	4,275	4,277
販売費及び一般管理費合計	24,011	23,778
営業利益	3,753	2,431
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	438	477
受取手数料	739	709
負ののれん償却額	6	6
持分法による投資利益	1	2
その他	542	401
営業外収益合計	1,740	1,612
営業外費用		
支払利息	24	11
不動産賃貸費用	136	90
和解金	-	59
その他	40	26
営業外費用合計	201	187
経常利益	5,293	3,856

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	135	0
投資有価証券売却益	-	0
その他	7	1
特別利益合計	143	2
特別損失		
固定資産処分損	19	30
その他	-	3
特別損失合計	19	34
税金等調整前四半期純利益	5,417	3,823
法人税、住民税及び事業税	2,399	1,973
法人税等調整額	△485	△455
法人税等合計	1,913	1,518
四半期純利益	3,503	2,305
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,503	2,305

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	3,503	2,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	705
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	17
その他の包括利益合計	692	722
四半期包括利益	4,196	3,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,196	3,028
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	290,674	23,406	92	160	314,333	—	314,333
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,184	93	—	52	12,330	△12,330	—
計	302,859	23,499	92	212	326,663	△12,330	314,333
セグメント利益又は損失(△)	4,043	△118	34	△69	3,888	△134	3,753

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	274,963	24,051	75	189	299,279	—	299,279
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,845	95	—	92	12,034	△12,034	—
計	286,808	24,147	75	281	311,313	△12,034	299,279
セグメント利益又は損失(△)	2,221	662	20	△58	2,846	△414	2,431

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。